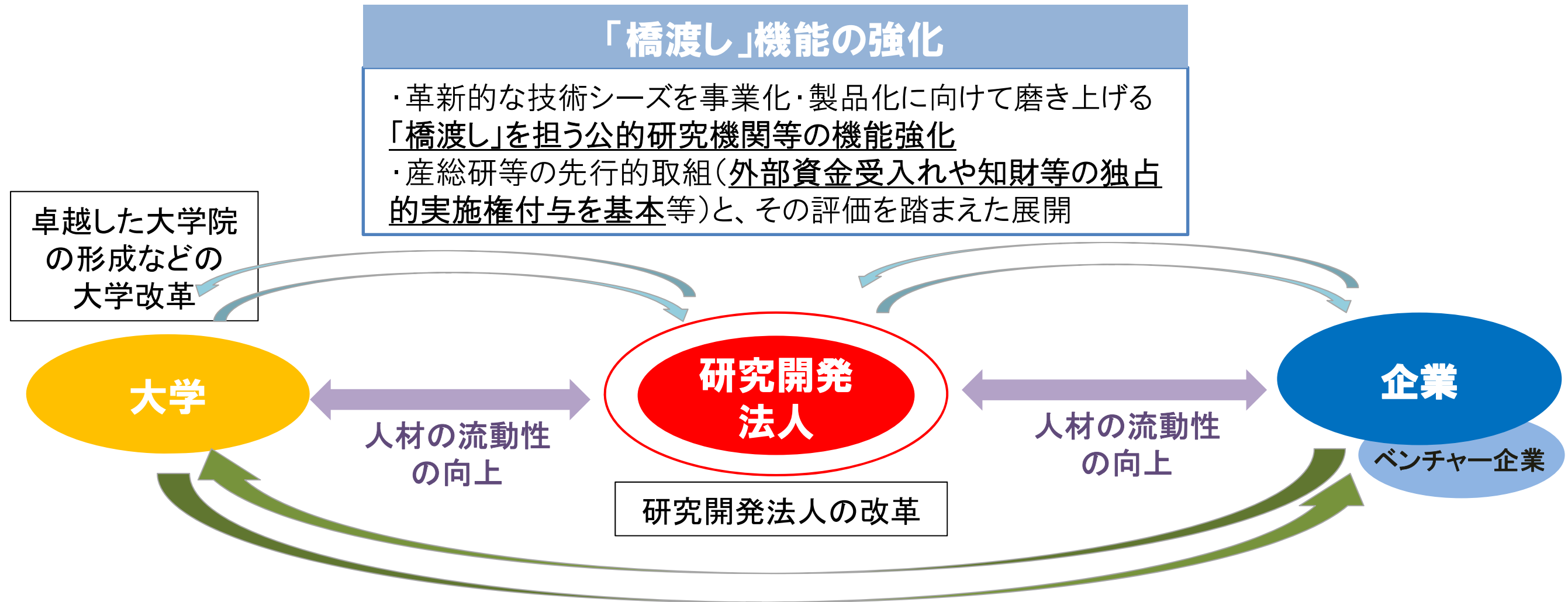


イノベーションシステムの変革

- ◆ 全体を俯瞰し、イノベーションシステムを最適化するという視点が必要
- ◆ イノベーション創出の各過程(芽を育み、システムを駆動し、結実させる)での橋渡しが重要
- ◆ 共創環境をつくる「イノベーションハブ」を、イノベーションシステムの変革のエンジンに
- ◆ 多様な「挑戦」と「相互作用」の場を確保し、持続的な発展性のあるイノベーションシステムへ



組織の枠を超えた人材の流動化

- ・年俸制の導入促進や、医療保険・年金等の扱いにおける環境整備などにより、大学と研究開発法人等の間でのクロスアポイントメント制度の積極的な導入・活用
- ・共同研究や、兼業・出向・研究休職制度の活用

イノベーションハブの形成

＜様々なアイデア・ノウハウを持った人材・組織が共通のビジョンの下に連携し切磋琢磨する多様な「場」やネットワークをつくる＞

- ・研究開発法人を中核として、組織の垣根を越えた連携体制を構築し、世界に互する産学官共同研究拠点・ネットワーク型拠点の形成を推進